

2月の園便り



「あたしも
びょうきに
なりたいな」

31年 新潟青陵幼稚園 加藤 由美子

卒園児の男の子は小学校3年生、男の子のお母さんから教えていただいた話…

「この前、作文を持って帰ってきたのですが、将来の夢が恐竜博士と書いてありました。幼稚園の時にたくさん“恐竜の絵やさんごっこ”をして描いた絵をクラスの友だちに喜んでもらったことや、園庭で化石を探したことが楽しかったみたいで・・・」 宮島

恐竜が大好きだった男の子は、青ばらになった頃には恐竜の絵を描くようになりました。たくさん恐竜の絵を描いていた男の子、でも没頭してしまうと他の子どもたちと遊ぶ時間が少なくなっていました、そこで「恐竜の絵を売るお店をやったら？」と宮島が提案し、男の子は「それ、いいね」と早速“恐竜の絵屋さんごっこ”をはじめたのです。この絵のお店に恐竜の絵を買いにきてくれたのは、同じクラスの子どもたちだけでなく、白ばらさんも赤ばらさんも買いに来てくれました。男の子は、お店屋さんになって、たくさんの子どもたちに買ってもらうのが何より嬉しかったようです。どの絵を買おうか迷っている子には、「これはどう？」とアドバイスしたり、プテラノドンが欲しかったというお友だちには、「じゃあ、描いておくれ」と約束していた男の子です。興味を持ったこと、やりたいことを遊びに生かし、人とのかかわる力、人を思いやる力、を身につけていったのです。こういう経験が、小学校に行っても続いていて、恐竜の絵を描くことにさらに拍車をかけていたようで、お母さんが見せてくださった男の子の恐竜の絵は素敵でした。幼児期に描いた恐竜が人との間をつなぎ、“好きなこと見つけた”…につながって、男の子の“恐竜博士”という夢になったようです。当然ですが大きくなるにしたがって、好きなことは変化し、夢も変わっていくことと思います、今後、恐竜だけでなく、いろいろなことに興味を持って、やりたいことを見つけていく力を身につけられたのではないかと思います、“自分の好きなこと”が元となって、たくさんの友だちとかかわった、この男の子の経験はやがて大人になると、自分の人生を自分で創造していく力となっていくのだろうと思うのです。

幼児期の遊びは学びであることが、この男の子の、夢を持って生きる姿からよく理解できるのではないかと思います。幼児期の遊びが重要だから、幼稚園教育要領に「遊びを中心とした生活にする」とあります。よく遊んだ子どもは勤勉な人になるとも言われています。夢を持つことができる若い人たちが多くなると、社会は豊かになる、若い人たち一人ひとりが、自分の夢を持って、未来を創ることができる時代がくるといいですね。

吉田松陰の言葉 「夢なきものに成功なし」

2月の予定

日	曜	給食	降園時間	行事
1	金	○	2:00	
2	土	/	/	大学入試のため自由登園はお休みです。
3	日	/	/	
4	月	○	2:00	節分の豆まきを行います。
5	火	○	2:00	
6	水	○	2:00	
7	木	○	2:00	
8	金	○	2:00	
9	土	/	/	第2土曜日
10	日	/	/	
11	月	/	/	建国記念日
12	火	○	2:00	
13	水	○	2:00	
14	木	○	2:00	
15	金	○	2:00	
16	土			のばら劇場です、詳細は各クラスのお便りをご覧ください。
17	日	/	/	
18	月	○	2:00	
19	火	○	2:00	
20	水	×	11:30	誕生会、2月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう。
21	木	○	2:00	
22	金	○	2:00	
23	土	/	/	第4土曜日
24	日	/	/	
25	月	○	2:00	
26	火	○	2:00	
27	水	○	2:00	
28	木	○	2:00	